

概要

1. 都市サービスの高度化に向けた取組について

- ・都市サービス高度化の検討にあたり、主査から1つのイメージとして共通プラットフォームの実現について説明。

2. 上記提案に対する主な意見

- ・提案のあったプラットフォームはデジタルサイネージの情報と個人とを結びつける重要な話である。
- ・既存のインフラを活用する点は同意する。
- ・具体的なサービスの提供場所や内容等について、関係者とも話をしながら検討していきたい。
- ・交通系ICカードの活用は、着眼点として素晴らしい。しかし、あくまで有力な実現方法の1つとして今後も検討していくべき。
- ・事業者として提案のあった仕組みがあれば、今後の自身のサービスの多様化を図れる意味で大きな前進。
- ・2020年の東京大会の際には是非とも実現するためには、まず、最低限必要なものは何かを固めた上で、誰が責任を持つのか、誰がシステムを組み立てるのかからまずは議論すべき。
- ・50点、60点でもサービスインし、その後民間がアイデアを出しながら多様性を展開することが適當。
- ・カード紛失時の技術的な対応についても検討が必要。
- ・外国人に対してサービスの多様性も重要だが、そもそもストレスを感じさせずともサービスを提供できる方法も検討すべき

今後の予定(第2回に向けて)

- ・事務局に対して、第1回の議論の結果も踏まえたアクションプランの素案の作成を指示
- ・構成員に対して、具体的なサービスイメージの提案を依頼